※令和３年度以前入学生用

学校番号	324

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ(理系)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校現代文Ｂ　改訂版」（第一学習社）						
副教材等	「高等学校現代文Ｂ[改訂版]」（第一学習社）、三訂版入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500（いいずな書店）、巻頭増補版最新国語便覧（浜島書店）、現代文キーワード読解（Ｚ会）、共通テスト対策実力養成（ラーンズ）、現代文読解基礎ドリル（駿台文庫）、あつめてつないでけずる現代文記述対策（エスト）、ちくま評論選（筑摩書房）、改訂版大学入学共通テスト実践演習　論理・文学編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

あらゆる角度からコミュニケーション活動を行い、論理的に思考し、豊かな感性を身につけることを目標とします。学習にあたっては説明的文章・文学的文章において、文章を客観的・批判的に読解することを目指します。文学的文章ではストーリーを押さえ、登場人物の内面やその背景を捉えられるようになりましょう。説明的文章では、論理展開を把握し、著者の主張を正確に捉えられるようになりましょう。これらの読解作業においてキーワードは、意味段落・要素・要約・整序・言い換え・根拠・二項対立・文脈・比喩、です。また、漢字や言葉の意味などを積極的に調べ、語彙を増やすことに努めてください。

2　学習の到達目標

・対比表現や言い換え、比喩などに着目し、文章構造を捉え、文章全体における筆者の主張を正確に読み取り、また読み取った内容を的確にまとめることができる。
・近代以降の多くの文章を読み、言語・芸術・科学など様々な分野について理解を深め、現代社会における諸問題について主体的に思考する態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート）定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間	小説	骰子の七の目	○		○	◎	○	a:授業や課題に積極的に取り組んでいる。 c：人々の描写を通して討論の流れを整理・整頓できるか。 d:選択する行為あるいは選択しない行為の持つ意味について理解しているか。 e 討論の流れを読み取り、作品の主題を理解しているか	a:行動の観察、課題の提出状況 c、d、e:　課題、小テスト、定期考査
	評論	未来世代への責任	○		◎	○	○	a:授業や課題に積極的に取り組んでいる。 c:著者の問題意識を捉えながら文章を読み、記述している。 d:著者の主張を正確に捉え、読解している。 e:具体的な社会現象と関連付けて文章を理解している。	a:行動の観察、課題の提出状況 c、d、e:　発表、課題、小テスト、定期考査
前期期末	小説	檸檬	○	◎	○	○	○	a:小説を読んで、主人公のものの見方、感じ方、考え方を理解し、情景、心情などについて考えを深めようとしている。 b:主人公の置かれた状況や心境について、自分の考えを持ち、話し合いを行っている。 c:　作品を通して考えたことを、自分の考えを明確にして感想文にまとめている。 d:情景や心情を、表現に即して読み味わっている。 e:特色ある語句や表現を理解している。	a:行動の観察、課題の提出状況 b:グループとしての発表 c:感想文 d、e:課題、小テスト、定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期期末	評論	身体の個別性	○			◎	○	a:授業や課題に積極的に取り組んでいる。 d:筆者の主張をつかみながら読解している。 e:評論文の読み方を理解している。	a:行動の観察、課題の提出状況 d、e: 課題、小テスト、定期考査
後期中間	評論	「である」ことと「する」こと	○			◎	○	a:授業や課題に積極的に取り組んでいる。 d:「である」原理と「する」原理を理解できたか。 e: 段落の相互の関係を整理し、全体の構成を理解したか。	a:行動の観察、課題の提出状況 d、e: 課題、小テスト、定期考査
後期期末		入試対策 問題文読解演習 共通テスト過去問演習 記述式論文の解法指導	○		○	◎	○	a: 読むことを通して、著者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。 c:作品のテーマを理解しながら、本文の内容を要約する力を身につける。 d:著者の意図や主張を把握しながら文章を読む。 e: 文章の構成の仕方を理解する。	a、e: 観察（発言・発表） a、d:ノート（要約・メモ等） d、e:定期考査、小テスト c: 自己評価・相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。